

わくどき3Dホログラム計画

宇和島東高等学校

新野翔太 原田真治 宇都宮旬 赤松壱都 畔地俊輔 浅井陽仁
担当教員 大上千智

1. 課題設定の理由

- (1) 既存の防災マップは複雑な部分があるため、**誰にでも伝わりやすいような防災マップ**を作りたいと思ったから。
- (2) 近い未来起こりうる南海トラフ地震に備えて避難を効率的にできるようにしたいから。

9. 防災マップは全体的にわかりやすいですか？

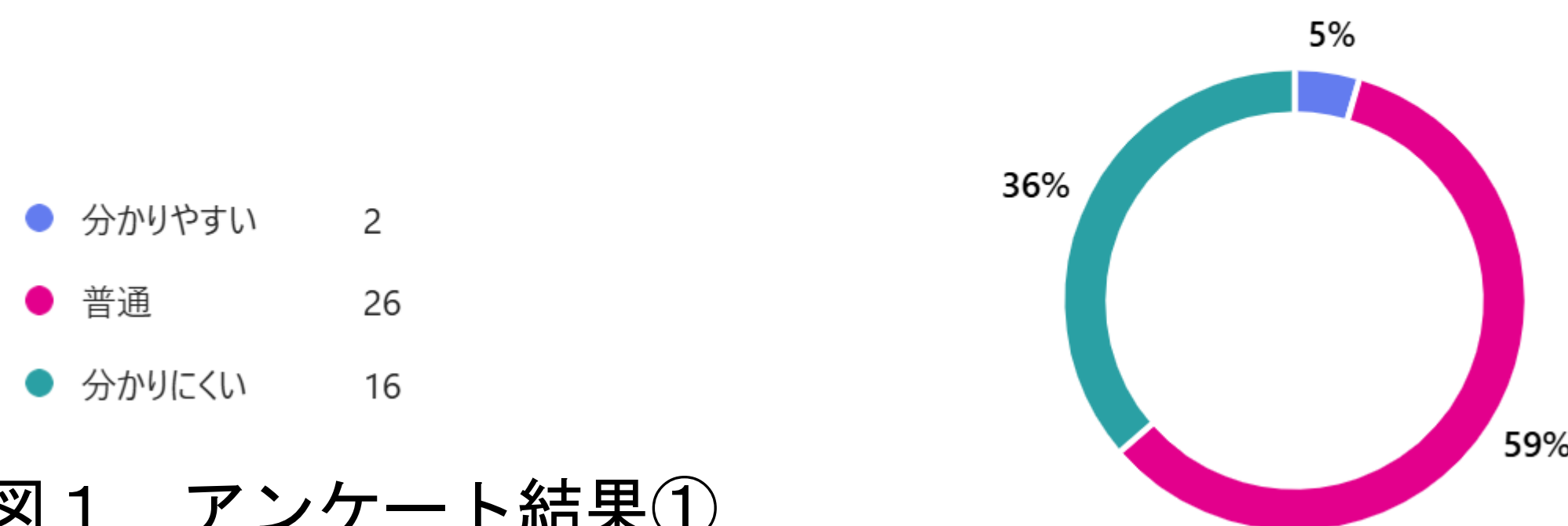


図1 アンケート結果①

10. 防災マップについて感じたことは何ですか？

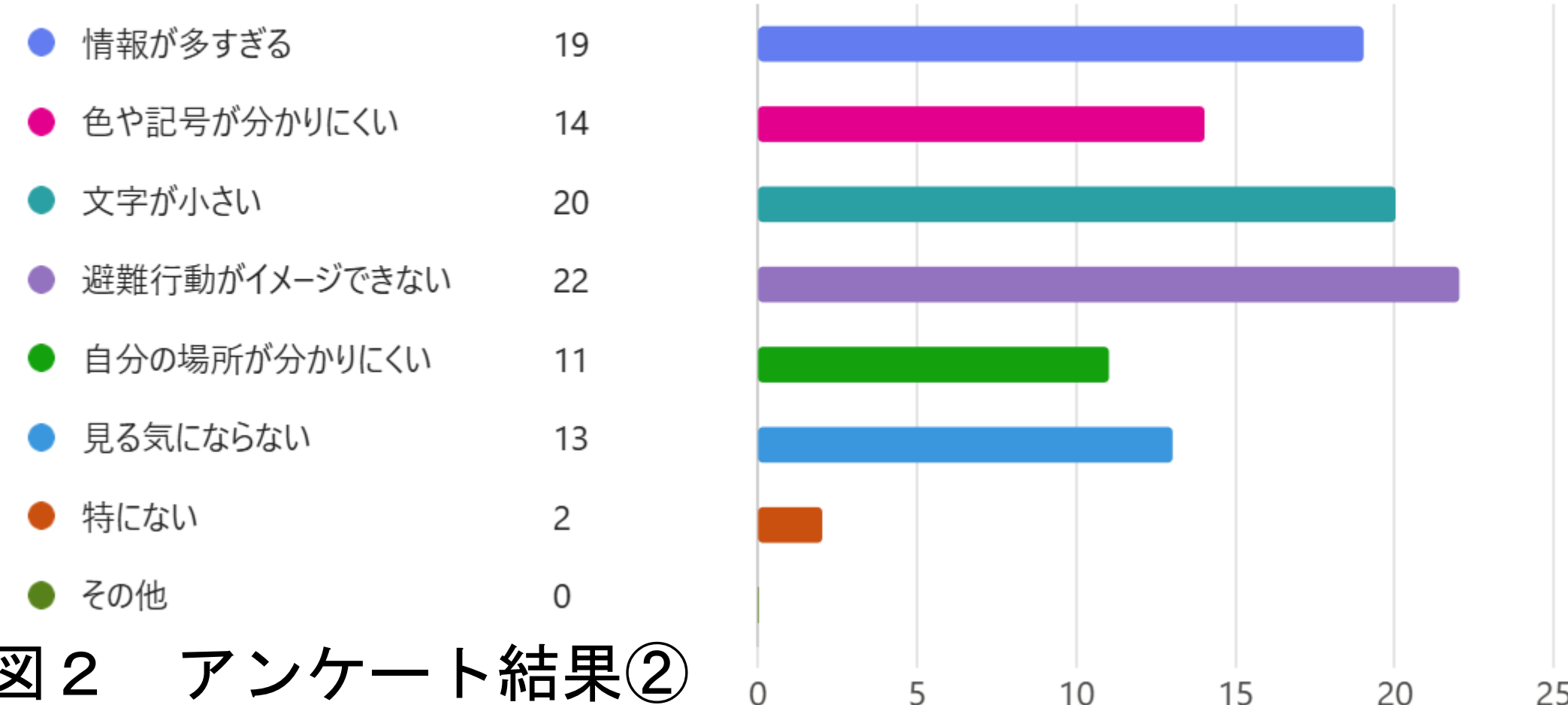


図2 アンケート結果②

2. 仮説

「災害のイメージが湧かない」ために防災意識が十分に高まっていない住民が多い。

地域の防災マップを3Dホログラム化し、様々な情報を**可視化**させることで防災意識が高まるのではないかと。

3. 実験方法

- (1) 既存の防災マップで10代～80代の方にアンケートを取り課題を見つける。
- (2) Blenderを使って作った3D防災マップで視覚的に必要な部分を分かりやすくする。
- (3) 3D防災マップを使ってアンケートを取り既存のものと比較する。
- (4) 3D防災マップの既存の防災マップより劣っているところを改善する。



図3 3D防災マップのイメージ図



図4 防災マップの作成手順